

事項一三 新邱炭坑ニ関スル件

四四一 六月六日

加藤外務大臣ヨリ
仙石鐵道院總裁宛

新邱炭鉱ノ入手経営ニ関シ満鉄ニ申入方照会
ノ件

政機密送第六五号

直隸省阜新県管内（東部内蒙古卓索圖盟東土默特旗内）ニ於ケル新邱炭鉱ノ極メテ有望ナルハ御承知ノ通りニ有之適當ノ方法ヲ以テ同炭鉱トノ間ニ何等カノ關係ヲ結び置クコトハ夙ニ我方ニ於テモ切望シ居レル所ニシテ現ニ過般満鉄本戸技師ノ調査ニ抛ルモ同炭鉱ノ価値ハ優ニ撫順炭鉱ニ比スヘキモノナリトノコトニテ若シ万一同炭鉱ニシテ他國筋ノ手ニ落ツルカ如キコトアルニ於テハ撫順炭自身ニトリテモ由々敷競争者タルヘキハ申ス迄モナキ所ニ有之然ルニ最近或ル筋ヲ通ジ同炭鉱ヲ我手ニ入レ得ル見込略ホ相立チタルニ付此機ヲ逸セズ是非共我宿望ヲ達スルコトヲ試ミ度就テハ同炭鉱トノ地理的關係上且又撫順炭鉱トノ關係上新邱炭鉱入手経営方ハ満鉄ヲシテ之ニ当ラシムルコト最其當ヲ

設ヲ希望スル旨回答ノ件

附屬書

六月十七日附野村満鉄總裁ヨリ中西鐵道院監督
局長宛秘発第三八一号

監第一五六六号

（六月二十一日接受）

大正三年六月二十日

鐵道院總裁工学博士 仙石 貢（印）

外務大臣男爵 加藤高明殿

新邱炭鉱ニ関スル件

本件ニ関シ本月六日附政機密送第六五号ヲ以テ御照会ノ次第了承御来示ノ通他國ト何等關係ノ生セサルニ先チ至急炭坑ヲ獲得シ置クコト最モ必要ト被思考候ニ付早速野村満鉄總裁ヘ電報ヲ以テ右ノ趣申送置候処今別紙寫ノ通回答有之右ニ由レハ炭鉱獲得ト同時ニ石炭搬出ノ方法トシテ鉱地ヨリ京奉線溝柵子ニ至ル鐵道敷設權ヲ取得致度希望ニ有之至極尤モト被存候条直接満鉄側ト御協議ノ上可然先方ヘ御交渉相煩度此段及御回答候也

追テ満鉄側ト御交渉ノ顚末ハ可成速ニ御通報相煩度此段申添候

註 右公信ニ左ノ通り記載セラレタル附箋貼付セラレアリ

一三 新邱炭坑ニ関スル件 四四四

得タリト思考被致候ニ付大至急御詮議ノ上貴方ニ於テモ御異存無之ニ於テハ満鉄ニ於テ當方ト協議ノ上本件ヲ引受クルコト、相成様可然満鉄側ヘ御申入相成度此段申進候也追テ本件ハ至急交渉ヲ開クコト必要ニ有之候ニ付満鉄ノ意嚮ハ電報ニテ御問合相成候様致度候

四四二 六月十三日

加藤外務大臣ヨリ
在天津窪田總領事宛（電報）

新邱炭鉱調査ノ為大倉組派遣ノ技師等ニ執照
發給取計方訓令ノ件

第二〇号

内密ニ新邱炭礦調査ノ為大倉組ニ於テ技師大日方一輔百瀬惠義及ヒ天津支店員一名ヲ派遣スルコトニ決シ本月二十日過貴地出發ノ予定ナル由ニ付大倉組ヨリ申出次第執照發給方可然御取計相成タシ

四四三

六月二十日

仙石鐵道院總裁ヨリ
加藤外務大臣宛

新邱炭鉱經營ニ付満鉄ハ新邱溝柵子間鐵道敷

「本件六月廿二日大倉發身ヘ電話ニテ通知済

本件利權獲得方大倉組ヲシテ尽力セシメ居ルコトハ極秘ノコトニテ鐵道院及満鉄ニモ打明ケザルコトニ大倉ト協議シアリ

（小池政務局長花押）

（附屬書）

秘発第三八一号

大正三年六月十七日

南滿洲鐵道株式會社總裁工学博士 野村竜太郎（印）

鐵道院監督局長 中西清一殿

内蒙古卓索圖盟内新邱炭坑ノ件ニ付御照会之趣敬承右ハ外務大臣ノ御希望モ有之当社ニ於テ入手シ追テ時機ヲ見テ經營ノ任ニ當リ候義ハ異議無之候ヘ共右石炭搬出ノ途無之候テハ炭坑ノ利權獲得候共其効力無之モノト被存候間同所ヨリ京奉線溝柵子駅迄鐵道布設ノ權利獲得ヲ条件トシテ可然御高配相煩度此段答申候也

四四四

六月三十日

在天津窪田總領事ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

新邱ニ向ヒタル大倉組大日方技師馬賊ニ殺害
サレタル件

第四五号

貴電第二〇号ニ関シ大日方技師ハ本月二十五日当地出發シ
二十七日新民屯ヨリ目的地ニ向ヒタルカ同地ヲ去ル約二日
程ノ地点ニ於テ馬賊ノ為ニ殺害セラレ同行者二名ハ無事ニ
テ屍骸ヲ携ヘ本日新民屯ニ着スル旨只今大倉組支店ヘ電報
アリタリ

四四五 八月六日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

新邱炭鉱經營權ノ代償トシテ大日方事件ノ賠
償金ヲ拋棄シ差支ナキニ付中国政府トノ話ヲ
進ムル様訓令ノ件

第三五七号

大日方事件賠償金ノ代リニ新邱炭坑ヲ大倉組ニ經營セシム
ルコトニ貴官ヨリ外交部ヘ交渉中ニテ成立ノ望アル旨大倉
組ヘ入電アリタル処右方一事実ナリトスレハ炭坑經營ノ件
支那政府ニ於テ承諾スルニ於テハ慰藉金並第四項ノ五千円
共全部拋棄スルモ差支ナキニ付其含ニテ話ヲ進メラレ模様
電報アリ度シ

四四六 八月十九日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

得ハ研究スヘク他ニ先願者等ナケレハ実行シ得ヘキ様思考
スル旨ヲ語リ本官ハ之ヲ諾シ兎モ角一応大倉組ノ意見ヲ徵
シタル上相談ノ余地アル様ナレハ更ニ政府ニ訓令ヲ請フコ
ト、致スヘシト答ヘ置キタリ其後八月十八日再庇曹汝霖ト
会见ノ際彼ヨリ進シテ此話ヲ持出シ過日ノ新邱炭坑ノ話如
何ニ相成リシヤト尋ネタルニ付本官ハ未タ大倉組ヨリ確定
の意見承知セサル旨ヲ告ケタル処曹ハ大日方事件ハ成ルヘ
ク至急ニ結了セシメタキニ付新邱炭坑ノ件モ速ニ承知シタ
ク他ニ格別故障ナキ限り自分ハ責任ヲ以テ本件ヲ解決スル
見込ナキニアラス若シ万一新邱炭坑不可能ナレハ大倉組ノ
希望スル他ノ礦山ハ無之ヤト質問セリ依テ本官ハ至急大倉
組ト協議シ一面政府ニ請訓スルコト、スヘキ旨ヲ告ケ置ケ
リ就テハ我政府ニ於テ事件ヲ叙上ノ方法ニテ解決シ可然御
見込ナルヤ否ヤ將又右方法ニテ宜シトセハ新邱炭坑ニ関シ
何カ故障アリ許可不可能ノ場合ハ大倉組ニ於テ希望スル新
邱炭坑ニ代ハルヘキ礦山アリヤ否ヤ先方ニ於テ解決ヲ急キ
居ル際ナレハ至急何分ノ御電訓アリタシ

四四七 八月二十一日 大倉組大倉発身ヨリ
小池政務局長宛

一三 新邱炭坑ニ関スル件 四四七

大日方殺害事件及新邱炭鉱採掘權ニ関シ曹外
交次長トノ交渉ノ状況報告及請訓ノ件

第五八九号

大日方被害問題ニ関シ過日曹外交次長ト会谈ノ節曹ハ縷々
財政困難ノ状ヲ訴ヘ日本国ニ於テ五千円ヲ引去リタルハ讓
歩トシテ其ノ好意ヲ諒トスルモ二万五千円ノ金額ハ尚多キ
ニ過キ支那政府ノ財政現状ニテハ甚シク困難トスル次第ニ
付尚幾分讓歩ノ余地ナキヤ一万円位ノ所ニテ折合呉レ間敷
ヤトノ話ニ付本官ハ支那ノ財政困難ナルハ夙ニ之ヲ諒ト
スル所ナルモ大日方遺族亦頗フル同情スヘキ憫然ノ境遇ニ
アル次第ニ付当方申出ノ通承諾セラレタキ旨篤ト説明シ本
官私見トシテ実ハ大日方ハ大倉組ニ久シク關係アリ先般旅
行モ自己毛皮業視察旁々大倉組ノ依頼ニヨリ序ナカラ新邱
炭坑ヲモ視察ニ出掛ケタル次第ニ付滿更關係ノナキ事柄ニ
モアラサルニヨリ大倉組ノ希望スル新邱炭坑採掘權ヲ許可
シ其ノ代リ大倉組ヨリ大日方ニ対シ二万五千円位ノ弔慰金
ヲ支給スルコト、シテ本件ヲ解決シテハ如何ト述ヘタル処
曹ハ之レ或ハ実行シ得ヘキ案ノ様ニ思考スルニ付炭坑ノ所
在礦区ノ広サ合弁支那人ノ名前並ニ圖面等速ニ知ルコトヲ

新邱炭鉱問題ニ関スル大倉組天津支店來電ヲ
送付ノ件

附屬書 八月二十日大倉組天津支店長ヨリ本社宛電報ヲ
新邱炭鉱ニ関スル件

大正三年八月二十一日 (六月二十二日接受)

大倉 發 身拜(印)

外務省

小池政務局長殿

貴下

拜啓新邱炭鉱ノ件ニ関シ弊社天津支店ヨリ弊社宛電文ヲ
(八月十七日着電) 過日參省ノ折御手許迄提出致シ同時ニ
貴局長ヨリ北京公使館宛御電命ノ趣キ通知致置候
然ル処弊社天津及上海支店間電照ノ結果別紙写ノ如ク本日
入電有之候間供御參考申候右得貴意候 勿々敬具
(附屬書)

電文ヲ(天津支店發 八月二十日午前十一時二十五分)
本店着 同月 同日午後五時三十分)

上海支店ヨリ出願人今明日中北京ヘ出發ス但シ新邱炭山ノ
件ハ今日迄多大ノ費用ト勞力トニ依リ鉅山局ヨリ許可ノ内
諾ヲ得居ルト返電來レリ依テ右ノ趣代理公使ニ話シ尚細目

相談中委細書面出シタ

天津支店長山元

四四八 九月十九日

在中國日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

大日方事件解決条件及新邱炭鉱採掘権ニ関シ
曹外交次長トノ交渉ノ結果報告及請訓ノ件

第六九一号至急

貴電第三六一号大日方事件ニ関シテハ大倉組ヨリ農商部ニ提出スヘキ新邱炭坑採掘願書取運ヒ方遅延ノ為外交部ト当館トノ交渉モ暫時差控居ル次第ノ処過般大倉組ヨリ願書提出済トナリタルニ付爾来数回ニ亘リ交渉ノ結果本件表向キノ解決方法トシテ(一)大日方ノ非命ノ死ヲ遂ケタルヲ悼惜シ且地方官ニ対シ外人ノ旅行ニ関シテハ特ニ意ヲ用ヒ十分ニ保護ヲ加フヘキコトヲ戒飭スル意味ノ大總統令ヲ発スルコト(二)加害者処分ニ関シテハ逮捕セルモノハ之ヲ嚴罰ニ処シ未タ逮捕セサルモノハ速ニ逮捕ノ上重刑ヲ加フル旨外交部ヨリ公文ヲ以テ通告スルコトノ二条件ヲ以テ之ヲ完了シ別ニ内密ニ賠償金ト相殺ノ意味合ヲ以テ鉱業条例ニヨリ新邱炭坑六鉱区(約六百万坪)ノ採掘ヲ大倉組ノ出資ニ係ル大

第四三五号

貴電第六九一号ニ関シ大倉組ヨリ本件ニ附帶シ支那側ヘ申出アル趣之新邱溝幫子連山灣鉄道ハ如何相成タルヤ又鉱区数ハ六鉱区ニテモ強テ差支ナキモ其ノ何レノ鉱区ナルヤハ日本側ト立会ノ上決定スルコト、致度又新邱炭坑中ニハ交通部所有部分アルモ右ハ差当リ同部ニ於テ手ヲ付クル意嚮ナキ由ナルカ他日同部ニ於テ之ニ手ヲ付クル場合ニハ大倉側ト合併経営方希望スル旨支那側ニ申入レ置カレ度シ尚七月廿四日附政機密送第二三八号添付条件第二直系上官ノコト第三地方官及告示ノコトハ支那側承認済ナルヤ承知シ度シ尤モ目下本件ハ将来事実上ノ經營者タルヘキ満鉄側ノ意見問合中ナルニ付確定ノコトハ更ニ電報スヘキモ不取敢以上諸件ニ対スル支那側意嚮ヲ確メ電報アリ度シ但新邱問題ニ大倉ノ關係シ居ルコトハ満鉄側ニハ明カシ居ラサルニ付御含置アリ度シ

四五〇 九月二十一日

加藤外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

大日方殺害及新邱炭鉱ニ関シ曹外交次長トノ

話合ノ案ニ満鉄異存ナキ件

一三 新邱炭坑ニ関スル件 四五〇 四五一

新公司ニ許可スルコトシタキ旨曹汝霖ヨリ小幡ニ申出タリ元来大倉組出願ハ十一礦区ノ広キニ亘ルモ当初曹ヨリ三礦区丈ニテ満足セデレタキ旨懇談アリタルヲ以テ小幡ヲシテ再三交渉セシメタル結果最近漸ク五礦区迄讓歩シ来リ九月十八日更ニ結局六礦区迄押付ケタル次第ナルノミナラス支那側ニテハ新邱ノ撫順ニモ劣ラヌコトヲ頻リニ吹聴シ居リ且本交渉ハ追々關係者以外ニモ洩ル、ニ至ルヘキ模様アリ或ハ意外ノ故障ヲ来スヤモ計リ難ク現ニ曹ハ小幡ニ対シ日本国ニ於テ余リ多ク地域ヲ要求スルニ於テハ寧ロ何トカ工面シテ賠償金二万五千円ヲ支払ヒ炭坑ノ方ハ之ヲ見合ハスコトニ致シタキ旨繰返シ申述ヘタル趣ナレハ最早ヤ此ノ上駈引ノ余地ナシト認メラル、ニ付上記ノ条件ニテ妥結スルコト可然ト認ム尚本件ハ支那ノ態度変ラサル間ニ急速決定方取計ヒタキニ付何分ノ義折返シ返電アリタシ

四四九 九月十九日

加藤外務大臣ヨリ
在中國日置公使宛(電報)

新邱炭鉱採掘権ニ附帶シ中国側ニ申出アル新
邱溝幫子連山灣鉄道敷設権其他ニ関シ問合ノ
件

第四三七号

往電第四三五号ノ件満鉄側ニ於テモ異存ナキニ付同電ノ趣旨ニテ至急話ヲ纏メラレ度シ

四五一 九月三十日

在中國日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

大日方殺害事件解決及新邱炭鉱採掘ヲ大倉組

ニ許可スルニ関スル中国外交部来翰ニ付報告

ノ件

第七二〇号

大日方被害事件ニ関シテハ新邱炭鉱採掘ノ件ト併セ引続キ外交部ヘ交渉中ノ処同部ハ九月廿八日附書面ヲ以テ大日方事件ハ曩ニ我方ヨリ要求シタル条件中(一)ハ実行済(二)(四)ハ我方同意ニヨリ撤回(三)ハ直チニ実行スヘク次ニ加害犯人ヨリ取上ケタル贓金七十九元ハ地方官ヲシテ奉天日本国総領事ニ送附シ大日方遺族ヘ転交方取計置タルニ付右ニテ本件終了ノ事ト致シタク又大倉組出願ノ新邱炭鉱採掘ノ件ハ改メテ六鉱区許可スヘキニ付該商ヨリ農商当局ヘ出願セシメラレタキ旨申越シ大總統令発布ノ義ハ九月廿九日曹汝霖来訪ノ節不日必ス実行スヘキ旨言明シタリ右様ノ次第ニ付当館ヨリハ早速当地大倉組代表者ヘ至急農商当局ヘ出願手續

ヲ了スヘキ旨申渡シ置ケリ貴電第四三五号ニ関シテハ本件
結末ト併セ委細郵報ス 在奉天総領事へ転電セリ

四五二 十月一日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

大日方事件我方要求条項及新邱溝幫子連山灣

鉄道敷設権ニ関シ問合ノ件

第四六〇号

貴電第七二〇号ニ関シ我要求条件中ノ(二)加害者直系上官ノ
懲戒ハ当方ヨリ撤回シタルコトナキ筈ナル処我方同意ニヨ
リ撤回トアルハ如何ナル事情ナリヤ又大總統令發布云々ノ
義ハ貴電第六九一号(一)ノ大總統令ヲ指ス次第ナリヤ尚大倉
組ヨリ支那側ニ申出テタル趣之新邱溝幫子連山灣鉄道敷設
権ノ件ハ如何相成リ居ルヤ併セテ電報アリタシ

四五三 十月三日 在奉天落合總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

新邱炭坑ト石本権四郎トノ關係ニ関スル件

附屬書 十月三日附在奉天落合總領事ヨリ在北京日置公

使宛機密北第一五五号信

同右件

附記 新邱炭坑ト石本権四郎トノ關係

機密公第一九二号

大正三年十月三日

在奉天

總領事 落合謙太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

新邱炭坑ニ関スル件

本件ニ関シ在支公使宛別紙ノ通り申進置候ニ就テハ右写及
御送附候条御査閱相成度尚ホ同信中所載ノ客年二月九日附
機密北第二三三三号ハ大正元年十一月一日日本官發内田前外務大
臣宛第四三三五号ト同趣旨ニ有之候条右様御承知相成候様致
度此段申進候 敬具

(附屬書)

機密北第一五五号

大正三年十月三日

在奉天

總領事 落合謙太郎

在支那

特命全權公使 日置 益殿

新邱炭坑ニ関スル件

得共右妥定ハ容易ニ纏ルヘキ望ナカルヘク結局事端ヲ紛糾
セシムルニ至ルヘク候ニ就テハ大倉組ノ計画ニシテ着々進
捗致スヘキ見込アルニ於テハ日本人相互間ノ紛争ニヨリ之
力進捗ヲ妨クルコトモ如何ト被存候条旁本官ニ於テハ本件
ノ次第石本ニ対シ当分秘密ニ附シ置クヘク候尤モ同人ノ関
係ハ本官ニ申出居レル次第第二付他日大倉組ニ対シ申出ヅル
廉アルヤモ計リ難ク候間右御含置相成候様致度此段申進候
敬具

「本信写送附先 外務大臣」

(附記)

秘

新邱炭坑ト石本権四郎トノ關係

(政務局第一課調査)

本溪湖煤鉄公司島岡亮太郎大正元年十一月一日落合總領事
ヲ訪問シ守田大佐ノ部下ナル石本権四郎ヨリ蒙古東特黙特
王カ新邱炭坑及金鉱三ヶ所ヲ担保トシ二十万円ノ借款ヲ起
サン希望アリ守田大佐ノ仲介ニテ福島関東都督モ熱心ニ贊
成シ五万円位ハ都督ヨリ出スモ可ナリトノ意気込ナルニ付
大倉組ニ於テ右借款ニ応スル様配慮アリ度シトノ申込ヲ受

ケタリトテ同総領事ノ意見ヲ問ヒタルニ対シ総領事ハ且下支那官憲ニ於テ蒙古王等ノ外国借款ヲ起スコトヲ禁シ居レル折柄万一ノ場合帝國政府ノ保護ヲ受クルコトヲ得ルヤ否ヤハ予メ伺置クニ非サレハ危険ナリト答ヘタル趣ニテ且同総領事ヨリ右ニ付必要ナル訓令ヲ乞ヒ来レリ、一方大倉組ヨリモ本省ニ右借款談ニ関シ報告スル所アリタルモ結局同組ニ於テハ島岡ヲ通シテ本借款ヲ謝絶シタル趣ナリ

然ルニ大正三年六月大日方技師遭難事件ニ関シ日支間交渉ノ末支那政府ハ大倉組ニ対シ新邱炭坑ノ採掘權(六鉦区)ヲ許スルコト、ナリタル処右石本ハ大日方事件ニ關聯シ大倉側ニ於テ新邱炭坑經營ノ計画アルコトヲ耳ニシタルモノナルカ落合總領事ニ対シ該炭坑ニハ同人ニ於テモ前記ノ通ノ行懸ヲ有スルコト故大倉組ノ計画ニ対シテハ無頓着ニ看過シ能ハサル旨ヲ申述ヘタルコトアル趣ナリ

關係書類 (一)大正元年十一月一日付在奉天落合總領事來

電第四三五号

(二)同 年十一月九日付大倉組書面

(三)大正二年三月七日付同書面

(四)大正三年十月三日付機密公第一九二号在奉

天落合總領事來信

(欄外註記)

「石本権四郎ハ牛心台關係者石本愼太郎ノ弟ナリ」

四五四 十月五日 在中国日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

大日方事件要求条項及新邱連山灣鐵道敷設權

要求ニ関シ回答ノ件

第七三九号

貴電第四六〇号ニ関シ我提出条件中ノ(一)加害者直系上官懲戒ノ義ハ我方ノ同意ニ依リ撤回ノ旨ヲ支那側ヨリ申来リタルハ支那側ノ誤解ニ基クモノニシテ加害者正犯姜玉珍取調ノ結果兵士ニアラサルコト判明シタルヲ以テ之カ直系上官トシテ処罰スヘキモノナキニ依リ本項条件ハ自然実行不能ニ帰シタル次第ナリ敢テ当方ヨリ撤回シタルモノニアラサルニ付目下公文中右ニ関スル点訂正方支那側ニ交渉中ナリ大總統令發布云々ノ義ハ往電第六九一号中ニ云ヘル大總統令ヲ指ス次第ナリ(往電第七三七号参照)次ニ新邱連山灣鐵道敷設ノ件ハ曩ニ小幡カ代理公使任内ニ新邱炭坑採掘權獲得ノ上ハ自然運炭方法ニ関シ鐵道若クハ運河乃至ハ河川

四五五 十月三十一日 在中国日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛

大日方被殺害事件及新邱炭鉦問題解決ノ經過

報告ノ件

機密第四八二号 (十一月十日接受)

大正三年十月三十一日

在支那

特命全權公使 日 置 益(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関スル外交部トノ交渉大体纏リタル義ニ関シテハ九月三十日往電第七二〇号ヲ以テ大要報告ニ及ヒ委細ノ成行ニ就テハ該電末段附記ノ通書面ヲ以テ申進スヘキ筈ニ致居候処折返シ貴電第四六〇号ヲ以テ加害者直系上官懲戒ノ件並ニ新邱連山灣鐵道敷設ノ件等ハ如何相成タルヤ返電スヘキ旨ノ御來示ニ接シタルニ付不取敢往電第七三九号ヲ以テ一応ノ事情申進シタルニ更ニ又貴電第四八四号ヲ以テ加害者ノ官兵ナルハ一点疑ヲ容レス支那側ノ主張ハ承認シ難キニ付其論拠ヲ突留メ電報スヘキ旨御電訓ノ趣敬悉致候然ル処本件被害事件ノ交渉ハ中途ニ新邱炭坑ノ問題ヲ併起シ事

情大部複雑致居候為メ電報ニテハ其要ヲ尽シ難クト存シ玆ニ書面ヲ以テ委細成行左ニ開陳致シ候加害者カ官兵ナリシトノ義ニ就テハ本使着任前小幡代理公使ヨリ要求条件提出當時ニ於テ支那側ニ於テモ最モ此点ニ重キヲ措キ極力馬賊タルノ反証ヲ挙ケンコトニ努メ直ニ熱河都統ヘ急速查明ノ電訓ヲ發スルト共ニ特ニ大總統ノ發意ニヨリ調査員ヲ現場ニ派遣スル等有ラユル手段ヲ尽シ其復命ニ接スル迄ハ我方ノ挙示セル馬夫ノ証言等ニ対シ何等ノ反駁ヲモ試ミス専ラ新邱炭坑ノ件ニ就キ寧ロ好意の態度ヲ示シ居リシモ其後熱河都統ヨリ加害犯人ハ馬賊ニシテ正犯ヲ姜玉珍ト云ヒ既ニ阜新縣知事ノ手ニ於テ之ヲ逮捕シ直チニ死刑ニ処シタル旨ノ電報ニ接スルヤ曹外交次長ハ其來電寫ヲモ小幡代理公使ニ示シ既ニ加害者カ純然タル馬賊ニシテ死刑ニ処シタル以上ハ我要求条件中ノ(一)ハ実行済(二)ハ自然消滅(三)四(四)ニ代ユルニ大目方ノ遭難ヲ悼ミ地方官ヲ戒飭スル大總統令ノ發布ト新邱炭坑ノ件ヲ定ムルコト、シ被害事件ノ解決ヲ告ケ度旨申出タルニ付小幡ハ加害者ノ官兵ナルコトハ北条新民府分館主任等ヨリノ報告ニヨリ毫モ疑ヲ容レス熱河都統ノ報告ニハ斷シテ信ヲ措キ難ク条件第二ヲ不問ニ附スルカ如キ

件ハ重テ調査ヲ行フコト、シテハ如何トノ提議ヲ為スニ至リ斯テハ我方終局ノ希望ニ反スルノミナラス仮令加害者官兵説ニ贏チ得タリトスルモ何等得ル所無之始末ニ付官兵説ニ就テハ八月十五日附政機密第二六六号貴信ヲ以テ御送附相成リ候清瀨二郎ヨリ百瀨義恵ニ宛テタル書面写前段ニ

此手紙ヲ書キ居ル時恰モ蒙古太和營(即チ葦子溝ヨリ四十清里程北ニアル村)ニ居住スル邦人土居秀男方榎本精吉ナルモノ小生ノ寓居ヘ訪ネ來リ現今彼地ニ於テ貴兄等ヲ掠メタル馬賊一名逮捕サレ他二名嚴探中ノ趣申述タリ彼地知事李宗元ハ密偵ヲ派シ百方搜索ノ結果阜新縣附近某村落ニ於テ情婦ヲ有スル無賴漢アリ姓ヲ姜ト云フ兼テ注意人物ナリシカ今約二週間前盛ニ銀貨ヲ使用セリ彼地ハ銀貨ナトハ珍ラシキ土地ナレハ直ニ手ヲ付ケ引捕ヘタル趣ニテ其白狀ニヨリ彼等ノ頭目ヲ張福興ト云ヒ大目方氏ヲ射殺セシモノナリト云フ

トノ一節有之右ニ抛レハ加害者ハ事實馬賊タリシニ相違ナキ様ニモ見受ケラレ殊ニ既ニ逮捕死刑ニ処シタル者ノ姓姜ナルコトハ熱河都統ノ報告ト一致シ居リ旁々本件ノ真相ハ果シテ我方最初ノ調査ニ誤リナキヤ否ヤモ甚タ疑ハシク此

ハ絶對ニ同意スルヲ得スト主張シ引續キ論議ヲ重ネタルモ何分我方ニ於テモ馬夫等ノ証言以外ニ格別有力ナル具体的証拠ヲ有セサルコト、テ容易ニ支那側ヲシテ首肯セシムルニ至ラス然ルニ一方新邱炭坑ノ問題ハ他ヨリ故障ノ出テサル内迅速ニ決定シ置クノ必要ヲ認メタルヲ以テ小幡ハ加害者ノ問題ハ暫ク其論議ヲ避ケ之ヲ最後ノ決定ニ譲ルコト、シ專ラ新邱炭坑ノ解決ニ努メツ、アリタル趣ニ有之本官着任後右ノ方針ヲ聴取リ至極尤モノ義ト存候ニ付從來ノ成行ニ顧ミ引續キ小幡ヲシテ本件折衝ノ任ニ當ラシメタル結果隨時電報ノ曲折ヲ經テ漸ク決定ノ運ニ立チ至リ最後ニ再ヒ加害犯人ノ問題ヲ提起シ其解決ヲ迫リタル処支那側ニ於テハ依然熱河都統ノ報告ヲ盾ニ取り容易ニ我主張ヲ容レス此上ハ彼我立會調査ヲ行フカ又ハ我方ヨリ更ニ有力ナル具体的証拠ヲ提示スルニ非ラサレハ到底解決之見込無之去リトテ之レカ為炭坑問題ヲ際限ナク不定ノ情態ニ置クコトハ甚タ好マシカラスト存シタル上ニ農商部當局ニ於テハ果セル哉該炭坑ノ価値ヲ知ルト共ニ如何ニモシテ取極メヲ打破セント試ミ遂ニ外交部迄モ右ニ動かサレシ結果炭坑問題ハ全然之ヲ取消シ再ヒ原提議ニ戻リテ賠償金額ヲ議シ加害者ノ

上ノ交渉モ如何ト存セラレタル上ニ地方官ノ戒飭ニ就テハ条件第(三)ヲ容レタル外特ニ大總統令ヲ以テ機宜ノ措置ヲモ取リタル次第第二テ主義上我方ノ希望ヲ達シ居ル姿ナレハ炭坑問題ノ決定ト共ニ我要求条件実行之次第並ニ加害者処刑ニ関スル熱河都統來電寫ヲ書面ニテ本官ヘ通告セシメ右ニテ全部解決ノ運ニ至ラシムル方可然ト存シ往電第七二〇号末段附記之通り委曲郵報之上御追認ヲ仰ク所存ニ候処折返シ御電問ニ接シタル為玆ニ当初ヨリノ成行委曲及報告候尚本件交渉ノ末期ニ於テ炭坑問題不承諾之旨提議アリタルニ對シ本官ヨリ外交部ヘ宛タル反駁ノ覺書並ニ右ニ對シ同部ヨリ承諾ノ旨本官ヘ回答セル書面及ヒ加害者ノ処刑済ヲ通告セル書面等別紙甲乙丙号各写及御送付候間委曲右ニテ御査閱相成度乙号写ノ外交部回答書面中我要求条件ヲ全部四項ト記載有之ハ七月二十四日附政機密送第二三八号貴信附屬乙号要求条件(一)ヲ連續シテ(二)トシ以下順次繰上ケ全部ヲ四項ト致シタルカ為メニ有之右ハ可成条件ノ數ヲ減シ支那側ヲシテ同意ヲ容易ナラシメントノ主旨ニ出テタル儀ニテ實質ニ於テハ何等相違ハ無之次第第二候左様御承知相成度將又加害者ノ同類ニ對シテハ迅速逮捕処刑方要求致置候此

段申進候也

註 別紙甲乙丙各号写省略

四五六 十一月十四日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

大日方技師被殺害事件解決ノ措置追認ノ件

機密送第三七三号

去月三十一日附機密第四八二号貴信ヲ以テ大日方技師被害事件大体解決ノ次第縷々御稟報之趣了承致候本件ニ関シテハ曩ニ往電第四六〇号同第四八四号等ヲ以テ申進置候次第モ有之候得共御来示ノ如キ事情ナルニ於テハ貴官ノ採ラレタル措置ハ成行上已ムヲ得サルモノト認メラレ候ニ付右及追認候条左様御承知相成度此段申進候也

四五七 十二月三日 加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

新邱炭鉱採掘未許可ニ付中国政府へ督促方訓

令ノ件

第五八七号

貴電第七二〇号末段ニ関シ御来示ノ通り大倉組ニ於テハ早速貴地代表者ヲシテ支那当局へ出願手續ヲ了セシメタルニ

拘ラス今日ニ至ル迄未タ允許ノ運ニ至ラサル由之処右ハ如何ナル事情ナリヤ右大倉組代表者ト打合セノ上支那側へ督促方可然御措置アリタシ

四五八 十二月十三日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛

大倉組出願ノ新邱炭鉱採掘許可遅延事情報告

ノ件

機密第五二七号 (十二月二十一日接受)

大正三年十二月十三日

在支那

臨時代理公使 小幡 酉 吉(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関シ十二月三日附貴電第五八七号ヲ以テ御申越ノ趣敬悉致候御来示ノ通大倉組当地代表者ニ於テハ曩ニ外交部ヨリ当館へ六鉱区採掘許可ノ回答有之タル當時直ニ農商部当局へ出願ノ手續ヲ了シタルニ拘ハラス今日ニ至ル迄未タ允許ノ運ニ至ラサル次第ニ有之其主ナル原因ハ要スルニ外交部ト農商部ノ両当局者間ニ意見ノ一致ヲ欠キ互ニ感情ノ行違ヲ生シタルカ為メニシテ即チ農商部側ノ云ヒ分ニ拠レ

ハ大日方殺害事件ニ關聯シ外交部カ勝手ニ農商部ノ主管事務タル鉱山問題ヲ引受ケ諾否ヲ論議スルカ如キハ甚タ不都合ナリト云フニ有之右ノ見地ヨリシテハ同部ハ最初ヨリ極力外交部ヲ掣肘シ我方ノ要求ヲ拒絕セント試ミタルモ結局外交部ヨリハ大總統ノ直裁ヲモ仰キ遂ニ農商部側ヲ説キ伏セ最後ノ決定ヲ与フルニ至リタル始末ニ付農商部当局ニ於テハ頗ル不快ノ念ヲ抱キ総長張謇ノ如キ此レカ為メ其職ヲ去レリト迄伝ヘラレタル次第ナルヲ以テ大倉組代表者ヨリ正式ニ願書ヲ呈出スルヤ同部ヨリハ六鉱区ノ如キ広大ノ地区ヲ一会社ニ許可スルコトハ舊ニ前例ナキノミナラス之ヲ許ストキハ将来ニ惡例ヲ貽スノ虞アルニ付其儘ニ許可スルコト能ハサルモ若シ二会社ノ名義ニ分チ三鉱区ツ、出願スルニ於テハ直ニ許可スヘシトノ旨ヲ答ヘタル由同代表者ヨリ申出アリタルニ付当館ヨリハ協定ニ反スル右様ノ弁法ニ對シテハ斷シテ承諾スヘカヲササル旨ヲ申聞ケ爾來同代表者ヨリ農商部鈺政司長ニ屢次交渉ヲ試ミタルモ要領ヲ得サルニ付本官ハ同部周次長ニ会见シ篤ト本件ノ來歴ヲ説明ノ上是非共外交部ヨリノ申越通り至急許可ヲ与ヘラレ度旨ヲ求メタルニ次長ハ一応上海滞在中ノ張總長へ請訓ノ上何分ノ

儀回答スヘキ旨ヲ答ヘタルカ其後同次長ヨリノ申越ニ拠レハ本件ハ直ニ張總長へ電報シタルニ矢張二会社ノ名義ヲ以テ出願セシムル方便宜ナリトノ旨返電アリ甚タ遺憾トスル所ナレトモ張總長ハ不遠現職ヲ辞スヘキ筈ナルニ付本官ヨリ現代理總長章宗祥氏へ懇談セハ或ハ好都合ニ運フヤトモ考ヘ居ルトノコトナリシヲ以テ本官ハ十一月二十二日章總長ヲ訪問シ周次長ニ對スルト同様ノ趣旨ヲ述ヘタルニ本件ハ既ニ上海ニ於テ大倉組ト合併設立セル大新公司ノ代表者周圭璋ヨリ大新大興兩公司ノ名義ヲ以テ經營ノ儀出願セルニ付本部ヨリハ直ニ之ニ批令ヲ与ヘ速ニ其手續ヲ為スヘキ旨命令セリト答ヘ已ニ經營者自ラ承諾ノ上如上ノ手續ヲモ了シタルコトナレハ今更致方ナカルヘク本官ニ於テモ之ニ同意セラレタシト述ヘ甚タ了解シ難キ申分ニテ右様ノ事實ハ舊ニ本官ニ於テ承知致シ居ラサルノミナラス現ニ其前日迄モ從前通りノ主張ニテ本官ノ尽力ヲ求メツ、アリシ当地大倉組代表者スラ承知シ居ラサリシ模様ニ付本官ハ斯ル事實ハ一向ニ承知セス仮令有之トスルモ我政府ハ勿論大倉組本店ノ全然関知シ居ラサル所ナルヘキ旨ヲ答ヘ抗議ヲ保留シテ引取りタル後早速代表者ヲシテ本店並ニ上海へ電問セ

シメタルニ両会社ノ名義ニテ出願ノ件ハ事実ナルモ本店ニテハ不同意ナル旨ノ返電ニ接シタル由ニテ這般ノ行違ニ就テハ事ノ進行上不尠障害ヲ及ホシタル次第ナリシモ尚ホ引続キ本官ハ外交部ニ又代表者ハ鉱政司長ニ各交渉ヲ繼續シツ、アリシ折柄貴電第五八七号ノ御訓令ニ接シタルニ付一面外交部へ正式ニ不承諾ノ旨ヲ申送ルト同時ニ十二月七日鉱政司長ノ同席ヲモ求メテ農商次長ニ会见シ嚴重交渉ニ及ヒタル処両官ノ述フル所ヲ綜合スルニ

本件炭坑六鉱区ヲ大倉組ニ許可スルコトハ本部ニ於テ毫モ異議アルニアラス唯一会社ノ出願ニ対シ六鉱区ノ如キ広大ノ地区ヲ許可スルコトハ啻ニ前例ニ反スルノミナラス之レカ為メ地方人民ノ反対ヲモ惹起シ面倒ヲ来スノ虞アルニ付本部ノ立場トシテハ努メテ之ヲ避ケンコトヲ希望シ手続上一先ツ二会社ノ名義ヲ以テ出願許可ヲ受ケシメ(二会社トモ日本側ノ出資者ハ大倉組トシ毫モ差支ナシト云ヘリ)他日適當ノ機会ニ於テ(例へハ試掘ヲ了リ本経営ニ移ラントスル際ノ如キ尤モ妙ナラムト云ヘリ)改メテ兩社合併ノ出願ヲ為サシメ本部之ヲ認可スルノ形式ヲ取り實際ニ於テ当初ノ約束ヲ履行セントスルニ在リ

テ断シテ之ヲ斥ケントノ意図ヲ有スルモノニアラス要ハ出願ニ関スル手続上ノ問題タルニ止マリ根本ノ協定ニハ毫モ違背スルトコロナキハ勿論本件ハ既ニ上海ニ於テ出願ノ手続ヲモ了シ本部ヨリ許可ヲ与ヘ居ルコトナレハ帝國政府ニ於テモ是非共右ニ同意アランコトヲ希ム若シ大倉組ニ於テ此上異議ヲ申立テ強テ一会社説ヲ主張スルニ於テハ此レカ為メ該商ハ将来極メテ不利益ノ地位ニ立ツノ虞レアルヘシ云々

右ニ対シ本官ハ一応其所論ヲ反駁シ到底同意シ難キ旨ヲ言明シテ引取りタル次第ノ処釀テ考フルニ本件ハ仮令二会社ノ名義ニテ出願スルモ農商部当局言明ノ通り果シテ本経営ニ着手ノ際ニ於テ兩社ノ合併ヲ實行シ得ルモノトセハ實際 upper 等ノ不都合ナキノミナラス大倉組ニ於テハ右ノ讓歩ニヨリ農商部当局ノ感情ヲモ融和シ将来ノ事業ニ好影響ヲ及ホスノ利益モ可有之ニ付暫ク理屈ノ問題ヲ離レ大倉組其者ノ利害ヨリ打算シ研究ヲ試ムルモ亦一策ナラント存シタルニヨリ右ノ趣大倉組代表者へ内話シタルニ代表者ニ於テハ万一本件ノ希望ヲ達シ難キ場合ノ準備トシテ予メ二会社出願ノ際ニ農商部当局ヨリ取付クヘキ条件案(別紙写ノ如

キ)ヲ本店ニ送附シ指図ヲ請ヒタル処既ニ本店ヨリハ断シテ同意シ難キ旨ノ電報ニ接シ居ル次第ナレハ二会社ノ名義ニ出願方ハ別底行ハレサルヘクトノコトニ付此上ハ仮令多少ノ時日ヲ費ストモ飽ク迄最初ノ取極ヲ實行セシムル外致方無之ニヨリ同代表者ニ旨ヲ含メ重ネテ鉱政司長ト交渉セシメタル結果会社ノ名義問題ハ之ヲ後日ノ商議ニ譲リ差当

リ農商部派遣員ト共ニ鉱区ノ実測選定ヲ了シ置クコト、シ至急技師ノ派遣方ヲ本店へ電請セシメタル次第ニ有之候如上ノ始末ニテ農商部側ノ態度意外ニ強硬ナル為メ本件ノ交渉容易ニ纏マラサルハ甚タ遺憾トスル所ニ有之候へ共事情已ムヲ得サル次第ニ付鉱区ノ選定ヲ了シ経営ノ基礎確定シタル上ニテ更ニ当初ノ取極實行方ニ相努メ可申モ万已ムヲ得サル場合ニハ大倉組ノ利害ヨリ打算シ或ハ二会社ニ分割出願セシムルノ外致方ナカルヘキカト愚考致シ候篤ト御詮議ノ上何分ノ儀御回訓相成度此段報告旁々申進候也

(別紙)

(新邱炭鉱ヲ二会社ニテ出願ノ場合ノ条件案)

一、大新公司出願ニ係ハル新邱炭鉱十一鉱区ノ内六区ヲ許可ス

二、鉱区ノ撰定ハ從來交通部所有ノ八十餘畝ヲ除クノ外大新公司ノ任意トス

但シ地域ノ限定ハ來春適當ノ時季ニ於テ双方立会ノ上決定ス

三、大新公司ニ於テ鉱区撰定後ニアラサレハ他ノ出願ニ対シ許可ヲ与ヘス

四五九 十二月十五日 大倉組大倉身ヨリ
小池政務局長宛

新邱炭鉱鉱区選定ノ為技師派遣ニ関スル件

附屬書一 十二月九日在北京大倉組出張員宛本社宛電報

写

新邱炭鉱鉱区選定ノ為技師派遣方ノ件

二 新邱炭鉱選定ノ為技師出張ニ付満鉄トノ交渉

要領

大正三年十二月十五日
鉱重第一五一号

大倉組

大倉 発 身(印)

押

外務省政務局長

小池張造殿

貴下

拝啓仕候頃日来屢々御在省御尋申上候得共御繁務中ニテ拝顔ノ榮ヲ得ズ候ニ付乍略儀以書面申上候

陳者新邱ノ件ニ付別紙写ノ如キ電報弊社北京出張員ヨリ本月九日附ニテ参居リ結局農商部ヨリ現場へ技師派遣六鉦区撰定可致トノ事ニ有之候間此機ヲ逸セズ弊社ヨリモ至急派遣可仕從テ予テ御話願居候南滿鐵道会社ヨリモ技師派遣方御交渉願上度候尤モ對支那關係ヨリ考へ別紙ノ如キ要領ニ依リ実行致度考居リ候ニ付御異存無之候へバ南滿鐵道会社へ御話ノ際現在員以外ノ技師撰定方御依頼希望ノ至リニ候先ハ何分ノ貴答煩度如斯ニ御座候 敬具

(附屬書一)

在北京大倉組出張員発本社宛電報写

北京來電 十二月九日發

見タ大新公司丈デ取ルコト公使館ト共ニ引続キ嚴談中ノ処結局公司ヲ二ツニ分ケル問題ハ後廻シニシテ兎ニ角直グ現場ニ行キ六鉦区撰定セヨト農商部云フ故此機ヲ失セズ直グ技師派遣サレタシ技師天津ニ來イ何時誰ガ來ルカ返、山元

可相成処大日方遭難ノ前例モアルコト故是非共一行保護ノ為護衛兵ヲ附スル様予メ支那当局ニ依頼シ置カレ度シ尚出來得ヘクハ右護衛兵以外ニ我警察官ヲモ兩三名同行セシメ度ニ付此義モ可然交渉アリ度シ技師人名其他必要ノ事項ハ追テ電報スヘシ

四六一 十二月十五日

小池政務局長ヨリ
改野滿鐵理事宛

新邱炭鉦区選定ノ為滿鉄ヨリ技師派遣方ニ

關スル件

附屬書 滿鉄ヨリ新邱へ技師派遣ニ關スル要領

拜啓陳者先刻大体御話致置候通り新邱炭鉦ノ件ニ關シ十二月九日大倉組北京出張員ヨリ本社へ速ニ現場ニ赴キ六鉦区選定スヘキ旨農商部ヨリ指図アリタル趣電報ニ接シタル由ニ付此機ヲ逸セズ成ヘク速ニ貴社技師派遣ノコトニ取計度尤モ大倉側ニ於テハ對支那關係ヲ慮リ別紙所載ノ如キ要領ニ依リ本件ヲ実行スルコト、致度意嚮ナル由ニ付右派遣技師ハ貴社現在職員以外ノモノヨリ御選定ノ上其氏名出發時日等至急當方へ御回報相煩度尚大倉側ニ於テハ右技師ハ先ヅ天津ニ赴キ同地ニ於テ大倉側ノモノト打合ヲ遂ケラル、

一三 新邱炭坑ニ關スル件 四六一 四六二

(附屬書二)

新邱鉦区撰定出張ニ付南滿ト交渉要領

- 一、南滿ヨリ派遣ノ技師ハ南滿現在職員以外ノモノタルコト
- 二、今回ノ調査撰定ハ表面上飽迄大倉組ノ名義トスルコト
- 三、本社ヨリ百瀬ヲ一行ニ加フルコト
- 四、撰定鉦区ハ中国交通部トノ關係アルニ由リ全然秘密トナシ一行東京帰着後發表スルコト
- 五、百瀬ハ立会者ノ形式ヲ採ルコト
- 六、一行全員ハ表面上大倉組社員ノ名義トナスコト
- 七、一行保護ノ為メ護衛兵ヲ附スルコト

四六〇 十二月十五日

加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛(電報)

新邱炭鉦区選定ノ為出張ノ技師一行二護衛

兵ヲ附スル様中国当局ニ依頼方訓令ノ件

第六一〇号

新邱炭礦ノ件ニ付十二月九日大倉組北京出張員ヨリ本社へ速ニ現場ニ赴キ六鉦区選定スヘキ旨農商部ヨリ指図アリタル趣電報ニ接シタル由ニテ至急大倉側ヨリ技師派遣ノ運ト

様希望致居候ニ付右様御取計相成度此段得貴意候 敬具

(附屬書)

別紙

滿鉄ヨリ新邱へ技師派遣ニ關スル要領

一、南滿洲鐵道会社ヨリ派遣ノ技師ハ同会社現在職員以外ノモノトシ大倉組派遣員ト同行スルコト

二、今回ノ調査撰定ハ表面上飽クマデ大倉組ノ名義トスルコト

三、撰定鉦区ハ支那政府交通部トノ關係アルニ因リ全然秘密トナシ置クコト

四、一行全員ハ表面上大倉組社員ノ名義トナスコト

五、一行保護ノ為メ護衛兵ヲ附スルコト

四六二 十二月二十三日

加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

新邱炭鉦区選定ノ為滿鉄ヨリ派遣スル技師

ノ身分等ニ關スル件

第六二八号

往電第六一〇号ニ關シ大倉側ニ於テハ對支關係ヲ慮リ今回ノ調査撰定ハ表面上飽迄大倉組ノ名義トシ從テ滿鉄ヨリ派

遣ノ福田政記小林胖生牛島義雄三名ノ技師モ大倉組社員ノ名義ニテ大倉側ノモノト十二月廿八日天津大倉組支店ニ於テ落合フ筈就テハ往電第六一〇号護衛兵ノ件至急交渉ヲ了セラレ結果電報アリ度シ又右一行護照發給方ニ付テハ在天津總領事ト打合セ適宜措置セラレ度一行中大倉側ノ氏名ハ天津同支店ニ就キ承知アリ度シ
本件一行派遣ノ成行大要至急天津ニ郵報アレ

四六三 十二月二十八日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛(電報)

新邱炭坑ヘノ滿鉄派遣技師中一名変更ノ件

第六三五号

往電第六二八号中福田政記ハ出張ヲ見合セ小沼得四郎之ニ代ルコト、ナレリ護衛兵ノ件成行至急当方ニ電報シ天津ニ郵報アリ度シ

四六四 十二月三十日 在中国日置公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

新邱炭坑ヘノ出張技師ノ出發遲延ニ付護照及
護衛兵ノ請求ヲ見合セ居ル件

第八九一号

貴電第六三五号ニ関シテハ曩ニ大倉組天津支店長ヨリ一行中ニハ是非共大新公司出願名義人周圭璋ヲ加フルコトハ農商部派遣員ト現場ニ於ケル折衝上有利ナリト認メ其ノ旨上海ヘ電報シタルニ同人ハ目下江西方面ヘ出張中ニテ一月十日頃ナラテハ来京叶ハストノ趣ナルヲ以テ一行ノ出發日取ハ同人著ノ上決定スヘシトノ旨申出アリ右ノ次第ニテ時日ニ尚余裕アル今日取急キ護照及護衛兵ノ請求ヲナストキハ外間ニ洩ルル結果無用ノ誤解ヲ惹起シ意外ノ故障ヲ生スル虞ナキニアラスト存シタルニヨリ支店長トモ協議ノ上出發期日確定迄請求方見合セ居ル次第ナリ

事項一四 中国革命党關係者ノ動静ニ関スル件

附 在本邦中国留学生問題

四六五 一月九日 在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

上海居留地ニアル中国革命黨員ノ逮捕引渡方
ニ関スル外交部ノ要求ニ対シ外交団ヨリ回答
ノ件

公第四号

(一月十九日接受)

大正三年一月九日

在支那

特命全權公使 山座 円次郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

上海居留地ニアル革命黨員ノ逮捕引渡方ニ関
スル外交部ノ要求ニ対シ外交団ヨリ回答ノ件

曩ニ何海鳴、林虎、李烈鈞及熊仁等革命黨員逮捕方ニ関スル外交部屢次ノ要求並ニ之ニ対スル外交団ノ措置振ニ就テハ客年十一月廿一日附機密第四〇四号往信ヲ以テ詳細報告致タル通ニ有之候処十一月廿六日附ヲ以テ別紙甲号写ノ通(原文及外交団英訳文添付)外交部ヨリ首席公使ニ宛テ陳

其美一派ノ陰謀ニ関スル江蘇官憲ヨリノ報告ヲ齎ラシ之カ逮捕引渡方在上海領事団ヘ訓令スル様依頼有之候ニ付外交団ニ於テハ十二月十二日本件ヲ討議シタルニ各国公使共從來保持セルト同様ノ意見即チ所謂犯人逮捕ノ上ハ会審衙門ニ於テ預審シ其結果普通犯罪ナルコト確定ノ上ハ支那官憲ニ引渡スヘク之ニ反シ政治犯人ナルニ於テハ海路退去セシムヘシト云フニ一致セルカ今回ノ外交部来信ト云ヒ將又曩キニ林虎、李烈鈞及熊仁逮捕引渡ニ関スル来信ト言ヒ其内容ヲ窺フニ外交部ハ過般何海鳴事件ノ際外交団カ与ヘタル逮捕引渡ニ関スル同意ノ真意ヲ誤解シ居リ恰カモ外交団ハ既ニ何海鳴一派ヲ普通ノ重罪犯ト認メ居リ之カ逮捕ノ上ハ直チニ支那側ニ引渡スコトヲ承諾シタルモノ、如ク了解シ居ル様見受ケラル、ヲ以テ斯カル誤解ヲ一掃スル為メ犯人ノ逮捕及引渡ニ関スル既定ノ手續ノ何タルヤニ付充分明瞭ニ記載シ支那側ヲシテ將來誤解ナカラシメントノ希望ヲ以テ外交部ニ回答スルコトニ決シ首席公使之カ案文起草方ヲ